

東九州自動車道4車線化の早期実現に対する

要 望 書



《日本の渚100選「お倉ヶ浜」》

令和元年6月11日

日向市長 十屋 幸平

東九州自動車道 4 車線化の早期実現について

【提案・要望の要旨】

宮崎県北地域における大規模災害時の早期復旧、ネットワークの代替性及び時間信頼性の確保や事故防止の観点から、東九州自動車道の 4 車線化の早期実現に向けて取り組むこと。

【提案・要望の具体的内容】

以下の事項について、必要な措置を講じること。

1. 本年夏に予定されている暫定 2 車線区間の 4 車線化に係る「安全・安心計画（仮称）」の策定において、宮崎県の東九州自動車道を優先整備箇所として設定すること。

【提案・要望の理由】

宮崎県は、豊富な農林水産資源や観光資源に恵まれているにもかかわらず、西九州と比較して、地域の発展に必要な社会資本の整備が著しく遅れており、南海トラフ地震等に備える防災及び救急医療面に大きな不安を抱えております。

防災面では、日向市中心部のみならず、隣接する門川町、延岡市等の沿岸部において、緊急輸送道路に指定されている国道 10 号が南海トラフ地震等の津波浸水エリアに含まれており、有事における東九州自動車道からの被災地支援が最も重要となることが明らかであります。

しかし、東九州自動車道が暫定 2 車線の供用であることから、当地域の大規模災害時の早期復旧、ネットワークの代替性及び救急医療面等の時間信頼性の確保や事故防止の観点から、4 車線化の早期実現に向けた取り組みが最重要となっております。

国土交通省をはじめとする関係機関のご尽力により、当地域の高速交通ネットワーク整備については、順次整備が進んでいるところであり、深く感謝申し上げます。

しかし、暫定 2 車線区間の 4 車線化については「安全・安心計画（仮称）」の候補箇所となることから、特段のご支援とご配慮を賜りますようお願いいたします。

（提案・要望先）国土交通省

【参考資料】東九州自動車道4車線化要望説明図

東九州自動車道 4車線化要望説明図（門川 I C～都農 I C）

日向市中心部のみならず、隣接する門川町、延岡市においても、国道10号が南海トラフ地震等の津波浸水被害想定エリアに含まれており、有事における東九州自動車道からの被災地支援が最も重要となることが明らかである。

